

第 3 回環境審議会（書面開催）で提出されたご意見等

1 区の「2030年度のCO₂削減目標の見直し」に向けた意見・要望（抜粋）

二酸化炭素排出実質ゼロについて	5 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2050年のゼロカーボン、後戻りできないCO₂削減目標の見直しは必須と考えます。 ・ この目標はあくまで2050年CO₂ゼロエミッションを目指すマイルストーンであり、できるだけ早く（前倒し）目標を達成したい。そのためには、何をなすべきか検討したい。 ・ 2050年ネットゼロを目標として宣言する。 ・ ゼロエミッション宣言をしている東京都内にある当区も、現実的にはCO₂排出ゼロを目指しているが、ぜひ直接表明し内外に意欲を示し、取組んでいただきたいと考える。 ・ 2030年以降の設定でいいと思いますが「ゼロ」を目指すべきです。 	

目標の設定方法について	7 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ CO₂を多量排出する当区の2030年目標も、都の50%削減に貢献する数値を示し、真摯にかつ意欲的に削減取組を進めることを期待する。 ・ 国による「2050年カーボンニュートラル」と東京都の「2030年カーボンハーフ」を、目標値に反映させることは当然だと考えます。年々同じ比率として算出し、「2013年比50%削減」とすればよいと思います。（都と表現を揃えると2000年比で約60%の削減）部門別排出量などの区の特性を理解して、ターゲットを絞り効果的に施策を進めていくことも必要ではないでしょうか。 ・ 区と都では比較基準年が異なっているので、都にあわせて2000年を基準に再度目標設定をしなおすか、または2050年までのCO₂の排出実質ゼロを実現するため、2050年度を見据えたうえで、区としては基準年を2013年度としつつもさらなる削減のための目標を再設定するか、いずれにしても基準年度を見直す必要がある。 ・ 区民一人ひとりの削減目標を数値として設定する。できればCO₂●●%削減といった数値目標だけでなく、「2030年までに区民一人あたり国立競技場容積の0.5杯分」といったような具体的に分かりやすい例えもあわせて設定し、この壮大な目標を区民がより実感をもって理解できるようにすることが必要。 ・ 業務商業機能が高度に集積している貴区の地域特性を十分に考慮して、時間軸を明確にした目標を設定すべき。また、目標設定にあたっては様々な施策によるCO₂削減効果の見通しを時系列に積み上げ、実現見通しの検討が必要。 	

その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新宿の森を活用したCO₂排出量削減の取組はこのまま継続して実施してほしい ・ 温暖化対策を含め、どう行動するかをこれから勉強していきたい。

2 温暖化対策に向けた「具体的な取組」についての意見・要望（抜粋）

基本目標 1 地球温暖化対策・ヒートアイランド対策の推進	16件
<p><input checked="" type="checkbox"/> 大胆な都市計画、区民・事業者を巻き込んだ省エネ・再エネ活動、再エネ等のグリーン電力購入など大胆な対策に予算付けしていくことが必要と考えます。</p> <p>事 <input checked="" type="checkbox"/> 民生・運輸部門での省エネルギーが問題である。この部門での意識向上を目指したい。</p> <p>事 事業者部門対策強化の一環として、CO₂排出量の多い事業者でもある、大学のCO₂削減に取り組むことを提案する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 新宿区の場合、最大排出源は電力消費と想定され、具体的な対策は再生可能エネルギー由来の電力利用と省エネであり、その推進のための支援は引き続き必要。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 循環型社会のためのエシカル消費やエネルギーの地産地消につながる蓄電池や蓄電システムの導入等、時流に沿った課題を区の実情に落とし込んで議論し、記載する必要がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 新宿の森の拡張、区民省エネルギー機器等導入補助金の予算増</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 新エネ・省エネ機器等導入の普及促進を図る補助制度について、特に、家庭部門での燃料電池の設備更新を対象として追加すること、小規模事業者向けに高効率空調機を対象機器として追加すること。</p> <p>民 <input checked="" type="checkbox"/> いかに区民等の意識向上を図るかを考える必要がある。</p>	
基本目標 2 豊かなみどりの保全と創出	0件
基本目標 3 資源循環型社会の構築	3件
<p><input checked="" type="checkbox"/> ペットボトルの再資源化に向け、事業者と連携した回収システムづくりを進める。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 消費者向け製品のリユース容器の販売など、先進的な取組を支援する。</p>	
基本目標 4 良好な生活環境づくりの推進	0件
基本目標 5 多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進	4件
<p><input checked="" type="checkbox"/> 企業では中小企業の指導、民生では特に小中学生の環境教育を充実したい。エコ隊などの活躍に期待したい。</p> <p>事 <input checked="" type="checkbox"/> 環境に関心を持つ事業者の「新宿エコ事業者連絡会」に「新宿ゼロエミチャレンジ事業者ネットワーク」というような部会を作り、先行事例の見学、支援策の共有などを進め、隔月程度で開催し、意欲の増進と行動の活性化を図ることが重要と考える。</p> <p>事 <input checked="" type="checkbox"/> 新しい取組への対応を求められ、理解が追いつかない状況にある企業へ、支援が必要。</p>	